

私ののり

おじがのりの漢場を仕事としていた

あさくさりの たったと思う

父が漢場の資金を提供していた

のりか 毎週末

家牛のり というがい

何とほろした のりも いつも口にしていた

それはずっとづいて 今も金庫に

のりを つけてもろっていい

あさくさりの はカタロカに あまう

のりことはない

有明海 のりの はよくつている

のりはいいのよと 言っても

ミールイ はあまう 意味がわからない

笑日 やきのりの 味はのりの

カニト入ったのを いたいた

あつた

この これだ こののりの香り

あつたかし

たがらよとちがう

小さく取られたのり
がビニールに

フフ重ねている

五枚フフだ

これではすぐ腐くちてしまふ

私はA4サイズレのものを

ぐりぐりと口にするものだ

今はのりも思う存分レに使う習慣は

ないようだ

物の食べ方も時と共に変わっていくものだ

A4サイズレの物が食料庫にあるはず

明日とり出してみよう

2024
4/26